

平成 19 年 11 月 5 日

せりがや通信第15号

神奈川県立精神医療センターせりがや病院

薬物依存症者の回復に向けて

心理・相談科 井上 恭子

今回は外来治療を再開し、回復へ向けて歩き始めた事例について医師の関わりを紹介しました。今回は心理・相談科による 回復支援について紹介します。

<再受診までの経過> A氏は15歳時、好奇心から、トニン、ガスボンベの使用を始めました。高校卒業後、専門学校に進みましたが中退。仕事を始めましたが、数年後にブラックアウトなどの症状が出現し、25歳時、せりがや病院に入院。その後は、他院への入退院も繰り返していました。

<再受診> 8年後 33歳時、父とMSWとともに当院を再受診。入院が必要なため、地域のCW、MSW、父、本人、担当医師、私が参加し、今回の入院の目的・治療について話し合いました。その結果、家族が関われる状況ではないと判断され、キーパーソンは福祉の担当者とし、退院後は、ダルクへ入寮するという方針となり、本人も仕方がない様子で承諾しました。

<入院中の経過> 精神状態も安定し、急性期病棟から回復期病棟へ移動。プログラムにも順調に参加していましたが、「なぜ、自分がダルクに入らなければならないか!」と抵抗感を示したため、まず、ダルクに通ってから判断したらどうかと助言。その結果、入院1ヶ月を過ぎた時点で、私とともにダルクに行き面接を受け、翌日より毎日通い続けました。しかし、今度は、通所するなかで「自分はまた働いてやって行ける」という気持ちが強くなりましたが、就職活動が上手くいかなかったため、最終的にダルクへ入寮の運びとなりました。入寮の当日も拒否的でした。入寮後は、ダルクだけで断薬を続けるということで当院への通院を止めました。その後、他のダルクに移動し、1年後に退寮してアルバイトに就き、社会復帰を果たしています。現在も仕事と同時に自助グループへの参加を続けています。

職員紹介 作業療法士の郡司孝行と申します。今年の7月からせりがや病院で勤務することになりました。これまでもせりがや病院では、作業療法を実施していましたが、8月より精神科作業療法を本格的にスタートしました。せりがや病院で初めて作業療法士として勤務することにプレッシャーもありますが、やりがいも大いに感じます。これから多くの患者様と関わることで、自分自身も学び成長していければと考えています。そして、より充実したプログラムが実施できるよう努めていきたいと思っています。

作業療法とは 「作業療法って何?」との質問を受けることがありますので、紹介したいと思います。作業療法は病気によって生じた様々な障害に対し、作業活動を用い、その人にとってよりよい生活がおくれるようになるために実施されるリハビリテーションの一つです。依存症治療においても、酒・薬によって失われた心と身体の健康を取り戻すためのリハビリテーションとして実施されるものです。



せりがや歩こう会

せりがや歩こう会は、病院スタッフとOBで構成し、平成5年6月から始まり、今年の秋で30回目を迎えます。山あり海ありで、景観の良いコースを企画してます。また、くりはま歩こう会と交流を持ち、一般の方も参加していただいています。歩こう会は、健康・達成感・連帯感を目的とし、情報交換の場所としてご利用していただいております。のんびりと仲間と過す一日を是非、参加していただき、断酒・断薬の継続に役立ててください。(スタッフ一同より) OB 幹事 高津 喜久夫

せりがや歩こう会に参加して

私は入職時から陰ながらずっと応援してきました。はじめは、小さな子供さんの参加もあり、総勢60名くらいで歩いたこともありました。この春、29回目の歩こう会に久しぶりに参加しました。参加者は約15名でしたが、晴天に恵まれ、遅咲きの桜を見ながら新緑の中を歩き、心地よさを味わいました。“いつも来て良かったなあ”と思います。こうして15年間、歩こう会が継続できているのは、参加し続けている方が自然体だからだと思います。私も参加できる時に参加させていただきます。“どうしても～ねばならい”ではなく、参加できる時にその場に集まり、少人数でも、雨が降らなければ歩く、そのようなところが長く続けられる秘訣ではないでしょうか。私も自然体で参加し続けます。 看護師 小林 眞津子

< アルコール家族教室のご案内 >				< 薬物依存症の家族教室のご案内 >			
開催日程と担当				開催日程とテーマ			
12月 1日(土)	A	2月 2日(土)	C	12月13日(木)	3	自分自身を振り返る	
12月 6日(木)	B	2月 7日(木)	B	12月27日(木)	4	家族の変化・本人の変化	
12月20日(木)	B	2月21日(木)	B	1月10日(木)	特別講座		
1月 5日(土)	C	3月 1日(土)	C	1月24日(木)	1	薬物依存症とは	
1月 17日(木)	C	3月 6日(木)	B	2月14日(木)	2	否認の心理	
【お知らせ】 1月からアルコール家族教室担当が一部変更になりますのでご了解ください。次年度につきましては、次号にてお知らせいたします。 アルコール家族教室は、アルコール依存症の知識や特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくことを目的としています。 A=担当は医師、B=担当はソーシャルワーカー・臨床心理士、C=担当は看護師です。それぞれの立場から上記日程で開催いたします。				2月28日(木)	3	自分自身を振り返る	
				3月13日(木)	4	家族の変化・本人の変化	
				【特別講座 について】 “ナノランの活動と家族の対応”をテーマにナノランファミリーグループメンバーにお話をさせていただく予定です。 薬物依存症家族教室は、シンナー、覚せい剤、処方薬などの薬物依存(中毒)についての知識や薬物依存症の特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくことを目的としています。 どの回からでも参加できますが、4回を通してご参加いただくことをお勧めしています。			
参加方法 予約なし・無料です。当院に受診されていない方のご家族も参加できます。 開催時間 第2、第4木曜日 午後1時30分～3時 (但し、祭日はお休みです) 所在地 横浜市港南区芹が谷2-3-1 Tel 045 822-0365 開催場所 せりがや病院 2階デイ・ケア室							

土曜日のアルコール家族教室は午前10時30分～12時です。(時間を確認の上お越しください)

外来診療(新患・再来)は予約制です。

予約変更は平日の午後2時～4時にご連絡ください :045(822)0365

〒233-0006 住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷2-3-1

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/byouin/seisin/index.htm>

発行所 神奈川県立精神医療センター せりがや病院 編集委員